

鶯（1938）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 72分
初公開日 1938/11/09
公開情報 東宝映画

【解説】

伊藤永之介の同名小説を、八田尚之が脚色し豊田四郎が監督した。田舎の警察署を舞台に、そこを行き交う人々の姿をグランド・ホテル形式で描いた。製作は東京発声映画。キネマ旬報ベストテンの第6位に選ばれた。

東北の田舎町にある警察署を、キンばあさんという老女が訪れる。昔売り飛ばしてしまった養女の行方を捜してほしいという。署には鶏泥棒やもぐりの助産婦などが取り調べを受けていた。そこへたまたま鶯を手に入れたという女が現れ、警察に鶯を買ってくれないかと懇願する。家には腹を空かせた子供たちが待っていると女は食い下がるが、警察に鶯は狩猟禁止の鳥だから放すようにと脅され、署の玄関で鳥かごの扉を開け放した。

【クレジット】

演出	豊田四郎	
製作	重宗和伸	
企画	重宗和伸	
原作	伊藤永之助	
脚本	八田尚之	
撮影	小倉金弥	
美術	進藤誠吾	
音楽	中川栄三	
出演	勝見庸太郎	警察署長
	御橋公	人事主任
	伊達信	尺八流し
	鶴丸睦彦	卯之吉
	押本映治	村会議員
	北沢彪	訓導
	藤輪欣司	鶏泥棒
	汐見洋	医師
	霧立のぼる	百姓女
	清川虹子	その母
	堤真佐子	鶯を売る女
	村井キヨ	林檎売り
	文野朋子	ハル
	杉村春子	産婆・八重
	水町庸子	ヨシエ

藤間房子	キン婆さん
堀切浪之助	司法主任
江藤勇	刑事主任
恩田清次郎	警官
平陽光	警官
大友純	警官
木浦柴雄	警官
田辺若男	春吉
原田耕一郎	周旋屋
榊田敬治	出札係